

令和2年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田万世会館	所在地	千代田区外神田一丁目1番7号
-----	---------	-----	----------------

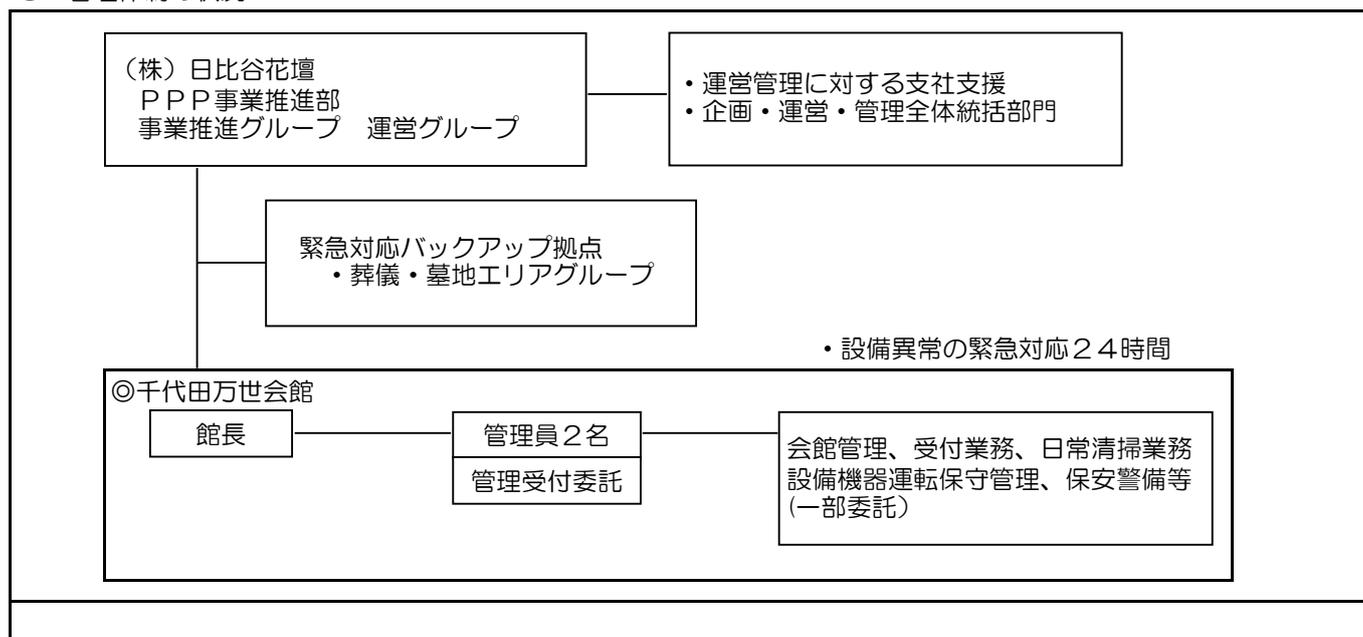
1 指定管理者の概要

名称	株式会社日比谷花壇	代表者	代表取締役 宮島 浩彰
所在地	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号		
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	報告期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区民に葬儀および法要の場を提供し、区民福祉の増進を図る。
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田万世会館の施設の利用承認等に関する業務 ・会館の保守及び維持管理に関する業務 ・会館の運営に関する業務

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用実績

令和2年度	①葬儀利用 ※は1日1組の葬儀とし 休館日を除いた日数	②遺体保管用冷蔵庫 ※は1日2遺体利用とし た延べ日数	③会議・法要利用 ※は休館日を除いた日数
(A) 利用可能日数※	356日	730日	356日
利用件数	58件	49件	6件
(B) 利用日数	107日	199日	6日
利用率(B) / (A)	30.1%	27.3%	1.7%

※休館日：令和2年度は年始（1月1日・2日）及び奇数月最終友引日等の合計9日

【参考】過去3年間の実績	①葬儀利用		②遺体保管用冷蔵庫		③会議・法要利用
令和元年度	81件	144日	61件	274日	22件
平成30年度	91件	154日	51件	248日	32件
平成29年度	107件	173日	76件	339日	37件

イ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理
- ・施設清掃業務（害虫駆除含む）
- ・消防設備等保守
- ・警備業務
- ・音響設備保守 等

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	17,918,000円	人件費	8,668,939円
利用料金	5,213,900円	維持管理費	14,585,728円
その他(自動販売機売上収入)	34,434円	運営費	3,757,197円
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う損失補填	6,156,991円	-	-
合計(①)	29,323,325円	合計(②)	27,011,864円
収支差額(①-②)	2,311,461円		

【参考】令和元年度指定管理料 15,744,000円

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>地域住民サービスを提供する拠点として、毎年実施してきた葬儀マナー講習会及び相談会（東京都葬祭業協同組合と連携）や地域住民の交流を図る目的とした自主事業イベント（フラワーアレンジ講習会）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で未開催となった。会館利用の裾野を広げる取り組みを実施できない事は残念であるが、利用者安全を配慮した苦渋の選択であった。</p> <p>感染症（新型コロナウイルス）拡大に伴い、利用者の安心安全を優先した施設管理運営の徹底を図った。区の方針に準じた利用規定及び対策を実施した。対策は、検温及び手消毒の器具や、除菌加湿付きの空調機を導入し、利用者目線で安心を提供できる内容とした。このような取り組みは、利用者からも安心して利用できると高評価である。</p>	<p>収入実績は、感染症（新型コロナウイルス）の影響を受け計画対比69.7%と大変厳しい結果となった。葬儀件数は、58件と前年より23件減り、前年対比71.6%と大幅に減少した。遺体保管用冷蔵庫の利用件数は、49件、利用日数は199日、前年対比80.3%と同じく大幅に減少した。1件当たりの平均利用日数も4.1日と高い実績である。前年と比べ1件当たり利用日数は、0.4日減っているが、件数に比べ減少幅は少ない。感染症による影響が少ない傾向にある。会議・法要件数は、6件の実績である。前年度対比は16件減と大きく減少している。これは会議利用の制限を設定している影響と利用者の会議方式がWEB会議へとシフトしている傾向にある。</p> <p>支出は、計画に対し91.6%と抑えることができた。各経費のきめ細かな削減努力が積み重なった結果である。</p> <p>収支は、収入減少の損失部分を補填していただいた結果、2,311千円の黒字結果となった。</p> <p>近年続くダウントレンド傾向に加え感染症の影響があるが、状況に応じた利用維持は、様々な視点から対応を模索していきたい。</p>

7 区としての評価・今後の方向性

<p>近年の葬儀規模縮小の影響や新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の葬儀利用は本指定管理期間中で最も低い実績となった。例年、会館周知のために実施していた、東京都葬祭業協同組合との連携による講座や自主事業による講座も中止となった。</p> <p>利用制限が求められる中で、迅速に感染症対策を施し、利用者が安心して施設を利用できるよう環境整備に努めており、高く評価できる。</p> <p>施設管理においては、設備保守点検による不具合の早期発見や計画的な修繕の実施により安全性が確保されている。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、さらなる葬儀利用の減少が想定される。感染症対策がこれまで以上に重要視される難しい局面を迎えることになるが、区としては会館運営に支障を来さないよう指定管理者への支援を行いつつ、これまでの運営ノウハウを活かした利用者サービスの提供を引き続き期待する。</p>
--